

【ご参考情報】 大規模地震発生時の対応について

ジャパンホームシールド株式会社

2024年1月12日

1月1日より発生しております石川県能登半島を震源とする地震発生に伴い、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早いご復興をお祈り申し上げます。

本資料は、これまでに発生した大規模地震災害発生時に、弊社にお問い合わせ頂いた内容を参考までに取りまとめております。少しでもご参考になる部分がありましたら幸いです。

1. 地盤に関する対応及び被災時の初動について

弊社の地盤品質保証につきましては、地震被害について免責となります。しかしながら、関連する部分に関するご相談について、下記にその内容を記しております。災害対策基本法に基づき助成金などの支援を受けられる可能性がありますのでご参考ください。実際に支援を受けられるかどうかは、各行政庁や各保険会社によりますのでその点はご了承の程お願いいたします。

- ① 被災状況の確認：建物の安全性を判断するため当該市町村に罹災証明の申請をお勧めします。
罹災証明の申請は所在地の行政ホームページを参照願います。
特に、建物修復後に罹災証明を取得するのは困難であることがありますのでご注意ください。
- ② 被災状況の保存：被災状況の写真撮影などによる被害状況を保存することをお勧めします。
早期仮復旧などで液状化噴砂などの被災状況が分からなくなる可能性があります。
なお被害状況写真は、背景に建物を入れるなど場所を特定できるように撮影しておくことが重要です。（近景写真と遠景写真のセットなど）
- ③ 地震保険の対応：地震保険は損害の程度によって認定を行い、保険金額が支払われます。
損害の程度が「全損」「大半損」「小半損」など確認するためにも罹災証明をお勧めします。また各保険対応は加入保険会社のホームページを参照願います。
- ④ 沈下修正の対応：大規模地震においては、継続的に大きな地震が発生する可能性があります。
気象庁や各行政機関の情報を元に実施時期の選定が必要です。まずは安全を確保、助成金などの確認をした後、沈下修正工事をご検討することをお勧めします。沈下修正工事のご相談に付きましては適宜ご相談ください。

2. 過去の大規模災害時の参考情報（熊本地震）

平成28年（2016年）熊本地震は、本地震と同様に活断層による地震となり、地震規模、被災状況も類似点が多くあります。震災後に熊本全体で沈下修正工事が増加し、沈下修正業者が非常に不足しました。業者不足のなかで、沈下修正工事を急ぎ、その土地に合わない不適切な沈下修正工事を実施したケースも確認されています。沈下修正工事にあたっては、お施主様に工法と選定の理由について十分理解していただき、その場所に適した工事を行うことが重要です。

以上